

このたびは明治の洗浄ガンをお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に

- 当製品を安全に、また正しくお使い頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みの上、十分理解してからご使用下さい。
- お読みになったあとは、必要なときにすぐに取り出せるように大切に保管して下さい。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の特約店・販売店にご注文下さい。
- 製品の品質・性能向上・安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容・イラスト等の一部が、製品と一致しない場合がありますのでご了承下さい。
- ご不明な事やお気付きのことがございましたら、お買い上げ店またはお近くの特約店・販売店にお問い合わせ下さい。



注意

安全な取扱に対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害や製品の重大な破損にいたる恐れがあることを示します。
使用上の誤りから発生した不具合に関しては保障対象外となります。

1. 材質について

- 金属部はステンレス、Oリングはバイトン製です。フレキジョイントはPOM、ロータリージョイントはPTFEを使用しています。
- 使用可能温度は0℃～80℃です。高温で使用する場合は、保護具を着用、又は、洗浄ガンに断熱材を巻いて下さい。

また、使用温度が60℃を超える場合は潤滑剤が溶けるため、定期メンテナンスが必要です。

2. 使用設備について

- 水道用です。蒸気混合式のミキシングバルブ出口での使用は出来ません。ミキシングバルブ出口を止めると、蒸気が逆流します。水側及び蒸気側に逆止弁を設置してください。

3. 取扱について

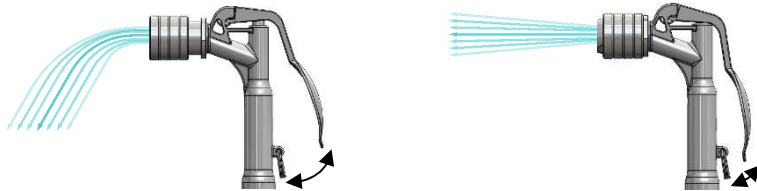
- 落下により変形・破損する恐れがあります。
- 絶対に人や動物に向けて吹きつけしないで下さい。
- 最高使用圧力(0.69MPa)以上でガンを使用しないで下さい。**
- 異物混入防止の為、フィルタ(13)はボディ(1)の後に必ず取り付けてご使用下さい。(取付位置注意)

4. その他

- ガンの改造はしないで下さい。十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
- 異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査し、問題が解決されるまでは再使用しないで下さい。

1. 操作方法

1. ホース類をホースニップル(8,19,24)にしっかり根元まで差し込んで下さい。市販の金具でしっかり緩みのないよう、取付けてください。
2. ノズル先端を吹き付けたい方向に向け、引金(2)を引いて下さい。
3. 引き代の調節により、流量の調節ができます。ご使用の地域・使用環境により水圧が違ふ為、噴射パターンが異なる場合があります。



4. 切替ノズル付の場合はスライダ(14)を前後に移動させることで噴射パターンを変更できます。



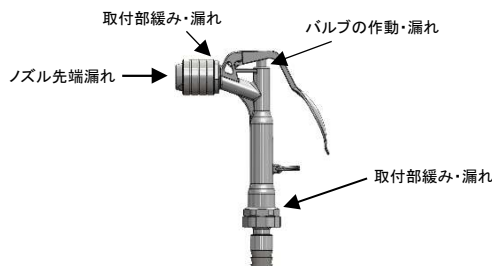
5. リング(7)で引金(2)固定し、連続噴出することもできます。タンクへの充填などにご使用下さい。



2. 保守点検

ガンは最良な状態で使用できるように日常点検を行ってください

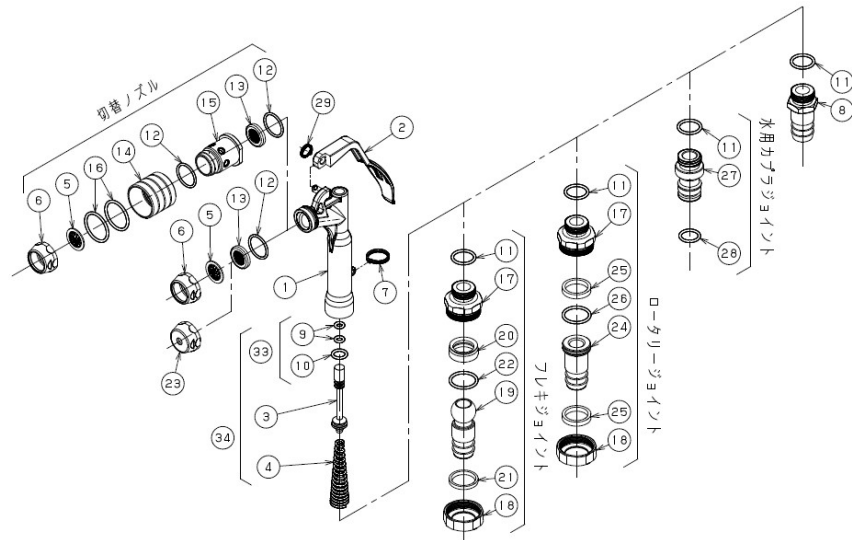
1. 各部位の緩みや漏れが無いが、確認して下さい。
2. 点検箇所



故障の状態	原因	対策
ノズル先端漏れ	1. Oリング P6(10)の磨耗・破損	1. Oリング P6(10)の交換
取付部緩み・漏れ	1. 取付部の緩み 2. Oリング P14(11)、S16(12)の磨耗・破損	1. 取付部締付 2. Oリング P14(11)、S16(12)の交換
バルブの作動不良・漏れ	1. Oリング P3(9)、P6(10)の磨耗・破損	1. Oリング P3(9)、P6(10)の交換

3. Oリング類は6ヶ月に1度、定期交換して下さい。交換時にOリングに傷を付けないよう注意して下さい。急激にOリングを拡げると破損の原因となりますので、ゆっくりと挿入してください。(弁システム(3)へのOリングP3(9)の交換用に便利な治具(別売り)を用意しています。)
4. Oリング交換時は破損が無いが、作動確認を行ってください。
5. 水量が減ったり、噴射の勢いが弱くなった場合はフィルタ(13)の目詰まりが考えられます。フィルタ(13)を取り外し、清掃又は交換を行ってください。

3. 部品表



符号	名称	材質	個数	符号	名称	材質	個数
1	ボディ	SUS316L	1	17	フレキ上部	SUS304	1
2	引金	SUS316L	1	18	フレキ下部	SUS304	1
3	弁ステム	SUS304	1	19	フレキホースジョイント	SUS304	1
4	弁ばね	SUS316	1	20	フレキパッキン 1	POM	1
5	シャワーチップ	SUS304	1	21	フレキパッキン 2	POM	1
6	ノズルベース	SUS304	1	22	Oリング KS12	バイトン	1
7	リング	SUS316	1	23	ストレートノズル	SUS304	1
8	ホースニップル 3/8×1/2	SUS304	1	24	ロータリージョイント	SUS304	1
9	Oリング P3	バイトン	2	25	ロータリーパッキン	PTFE	2
10	Oリング P6	バイトン	1	26	Oリング AS568-017	バイトン	1
11	Oリング P14	バイトン	1	27	水用カプラジョイント	SUS304	1
12	Oリング S16	バイトン	1(2)	28	Oリング P12	バイトン	1
13	フィルタ	SUS304	1	29	リング小	SUS316	1
14	スライダ	SUS304	1	33	Oリングセット	バイトン	1
15	スライドベース	SUS304	1	34	弁ステムセット	-	1
16	Oリング S20	バイトン	2				

保守パーツ(別売り)

名称	内容
Oリング交換用治具	弁ステム(3)へのOリング交換用 Oリング 弁ステム

4. 部品の交換

ガンの部品交換をされる前にガンからホースを取り外して下さい。
ガンの修理、メンテナンスは平らで清潔な場所で保護眼鏡を着用し、部品交換は明記された適切な工具をご使用下さい。

●フィルタ(13)の交換

1. ノズルベース(6)はスパナ 21 で取外します。
2. 切替ノズルの場合はスライダ(14)を前方にスライドし、スライドベース(15)をスパナ 21 で取り外します。
3. ボディ(1)の後にフィルタ(13)を取付けて下さい。(取付位置注意)

●弁ステム(3)、OリングP3(9)・P6(10)の交換

1. ホースニップル(8)をスパナ 19 で取り外します。
2. フレキシジョイント、ロータリージョイントの場合はフレキ上部(17)をスパナ 25 で取り外します。
3. 弁ばね(4)と弁ステム(3)がセットされていますので、ボディ(1)より抜き取ります。
4. OリングP3(9)、P6(10)の交換後、ボディ(1)に取付ける際は、破損防止の為、OリングP3(9)に潤滑剤を塗布して下さい。

●切替ノズル、OリングS20(16)の交換

1. スライドベース(15)をスパナ 21 で取り外します。
2. スライドベース(15)をスパナ 21 で固定し、ノズルベース(6)をレンチで取り外します。
3. スライダ(14)の中にあるOリングS20(16)を取り外し交換します。

●フレキシジョイント、OリングKS12(22)の交換

1. フレキ上部(17)をスパナ 25 で取り外します。
2. フレキ上部(17)をスパナ 25 で固定し、フレキ下部(18)をスパナ 27 で取り外します
3. 破損防止の為、OリングKS12(22)交換の際は、潤滑剤を塗布して下さい。

5. 仕様

形式	ノズル	切替ノズル	ジョイント	適応ホース	質量g	標準水道圧力(MPa)	流量(L/min)	
							直流	噴流
SEN3R-4W	シャワー	有リ	1/2 竹の子	1/2 ホース	175	0.3	20	30
SEN3R-4WK				(竹の子外径φ16mm)	225			
SEN3R-4FWK			フレキホースジョイント		250			
SEN3R-4RWK			ロータリージョイント		250			
SEN3R-4CWK			水用カプラジョイント	—	225			

6. 形式

形式表示
SEN3R-*
竹の子 3 : 3/8ホースジョイント 4 : 1/2ホースジョイント 4F : 1/2フレキシジョイント 4R : 1/2ロータリージョイント 4C : 水用カプラジョイント * : 切替ノズル K : 切替ノズル付 無記号 : なし ノズル W : シャワーノズル S50 : ストレートノズル (口径φ5) S35 : ストレートノズル (口径φ3.5)

2023.6.30